

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37203	福祉レクリエーション Welfare recreation	山口 榮三	専門	1	選択	1・2年後期
科目の概要						
福祉レクの支援計画の立案と支援実践ができるようになるために、福祉レクリエーション(以下「福祉レク」)を支える思想、またそれが発展してきた歩みを振り返り福祉レクの具体的な内容とそれが社会福祉の諸領域でどのように展開されているかを学ぶ。そして、福祉レク援助が何を目指して行われるのか、またその全体像を理解したうえで、福祉レク援助者としての支援計画立案手法と支援技術を学ぶ。						
学修内容			到達目標			
① 福祉レクの考え方を学ぶ。 ② 福祉レクの歩みを学ぶ。 ③ 福祉レクの展開状況を学ぶ。 ④ 福祉レクの企画手法を身につける。 ⑤ 福祉レクの援助技術を身につける。			① 福祉レクの考え方を簡潔に発表・説明ができる。 ② 福祉レクの歩みを簡潔に発表・説明ができる。 ③ 福祉レクの展開状況を簡潔に発表・説明ができる。 ④ 福祉レクの企画ができる。 ⑤ 福祉レクの支援ができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	今回の授業内容について、テキストの該当箇所や関連する内容を確認し、予習をした。				
	働きかけ力	グループワークなどのチームで話し合っ課題を解決する時、意見がでるように積極的に働きかける。				
	実行力	授業において、成績、知識・技術の習得に向け、どのように取り組むかの目標を持っている。				
考え抜く力	課題発見力	科目に対して、どのような姿勢で取り組んだらよいかを考え行動する。				
	計画力	授業の成果を上げるため、自分の学修計画を立てることができる。				
	創造力	「私ならこう考える」「このようにした方が良い」と、発想する習慣をつける。				
チームで働く力	発信力	相手が自分の話しを正しく理解しているかどうか、相手の反応を見て、状況に合わせて話せる。				
	傾聴力	話を聞く時は、うなずきやあいづちをしながら聞く。				
	柔軟性	立場によって、意見や考え方が違うということを理解し対応できる。				
	状況把握力	自分以外にも質問や意見のある人がいることに配慮した。				
	規律性	指示やルールが曖昧になった時は、自分の解釈で進めず必ず確認する。				
	ストレスコントロール力	ストレスを自己の成長のチャンスだと捉えることができる。				
テキスト及び参考文献						
テキスト:使用しない。プリントを適宜配布する。						
他科目との関連、資格との関連						
他教科との関連:レクリエーション論、レクリエーション実技の授業を履修すること。 資格との関連:レクリエーション・インストラクター 保育士 幼稚園教諭						
学修上の助言			受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> ・配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 ・覚えることが多いので、テキストにある練習問題にチャレンジし内容を整理してほしい。 ・欠席はしないこと。 ・授業を欠席したら、欠席分の課題をレポートにまとめ提出すること(必須)。 			<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の私語は慎み、積極的に授業に参加すること。 ・配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 ・レク財を知るために、インターネットやメディア情報など、積極的に情報収集する意欲を持ってほしい。 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容が理解されている。 ・問題を的確・適切に捉えられているか。 ・重要な点を把握しているか。 ・自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。 ・誤字・脱字はないか。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
小テスト	5	①		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の小テストの点数を平均して判定する。 ① 授業で学習した内容の理解度を確認する。 ② 穴埋め問題と、択一形式問題を中心に出题する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
レポート		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	25	①		福祉レク支援の完成度(特に高い:25点、完成度は高く内容にも工夫が見られる:15点、完成はしているが、内容には工夫と努力が必要である:10点) ・注目すべき支援方法、プレゼンテーションの明瞭さを評価する。
		②		
		③		
		④		
		⑤	✓	
作品	30	①		福祉レク支援の企画の完成度(特に高い:20点、完成度は高く内容にも工夫が見られる:10点、完成はしているが、内容には工夫と努力が必要である:5点)
		②		
		③		
		④	✓	
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性): 能動的な受講態度を評価する。(ポイントを的確に把握理解した支援実技等) (実行力): 失敗を怖れず、やってみようとする果敢さを持って、取り組むことができる。 (課題発見能力): 現状を正しく認識するための情報収集や分析ができる。 (創造力): 従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出すことができる。 (発信力): 支援実技の内容・意味を自分なりに十分に理解して支援している。 発表の仕方を工夫してわかりやすく発表できる。 (傾聴力): 相手の話を素直に聞くことができる。 (規律性): 受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力など)が見られる場合は減点する。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他	10	①		<ul style="list-style-type: none"> ・欠席は1回につき1ポイントの減点判定となる。 ・欠席レポートの提出(1回提出1ポイント)
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価割合	100			定期試験 20%、小テスト 5%、成果発表 25%、作品(企画内容) 30%、社会人基礎力(学修態度) 10%、その他 10%

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
上記の【評価方法】の内 90%以上を満たす場合を A(優)とみなす目安とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容の理解度が優れている。(55%) ・自身の見解を優れて論理的な文章で論じている。(5%) ・発表が優れて論理的である。(10%) ・優れて能動的な受講態度であること。(積極的で、ポイントを的確に理解した発言、発表等)(10%) ・発表、発言等に優れて創造性、独自性がみられる。(10%) 	上記の【評価方法】の内 70%以上を満たす場合をB(良)とみなす目安とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容の理解度が良い。(50%) ・自身の見解を論理的な文章で論じている。(5%) ・発表が論理的である。(5%) ・能動的な受講態度であること。(積極的で、ポイントを的確に把握理解した発言、発表等)(5%) ・発表、発言等に創造性、独自性がみられる。(5%)

回数	学習・教育内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1回 /	福祉レクの意義とその活動の理解及び実技種目の受講方法説明	講義と実技		予習:シラバスを理解する。 復習:講義のまとめ	60	規律性
2回 /	福祉レク援助の実際(1):援助をリードする際の、声の強弱、立つ位置、説明の仕方のポイントについて実践を通して考え、学ぶ。	講義と実技 小テスト	小テストが 60%できる。	予習:プリントの該当範囲を理解する。 復習:講義のまとめ。	60	課題発見力
3回 /	レクリエーション持つセラピューティック(治療的)な効果について学ぶ。	講義と実技 小テスト	小テストが 60%できる。	予習:プリントの該当範囲を理解する。 復習:講義のまとめ。	60	主体性
4回 /	福祉レク支援の展開と方法・活動分析(1) 各自ゲームの企画をする ゲームは場の楽しい雰囲気を作ります。そしてゲームを通して得られる身体的側面・知的側面・情緒的側面・社会的側面の効果を活動分析の基礎を通じて学ぶ。	講義と実技	活動分析の基礎理解ができている。	予習:プリントの該当範囲を理解する。 復習:講義のまとめ。	60	創造力
5回 /	福祉レク支援の展開と方法・活動分析(2) ゲーム支援の実践 ゲームは場の楽しい雰囲気を作ります。そしてゲームを通して得られる身体的側面・知的側面・情緒的側面・社会的側面の効果を活動分析の基礎を通じて学ぶ。	実技 (支援実習)	ゲームに積極的に参加できる。	予習:プリントの該当範囲を読む。 復習:講義のまとめ。	60	実行力
6回 /	体の機能が低下した高齢者にとって、風船や柔らかいボールなどは安全で手軽に使える用具です。各自様々なゲームの支援実習を行う。	実技 (支援実習)	ゲーム支援ができる。	予習:さまざまなゲームを調べる。 復習:実技の振り返りをまとめ記録	60	実行力
7回 /	小集団での共同学修 1~ウォーク・ラリー(以下「WR」)の企画~自然は、癒しとなり、また、ウォーキングすることは健康増進の効果を発揮します。チームで共同してWRの企画を行う。コースの下見を行う。	数名でのGW	グループワーク(以下「GW」)に積極的に係わる。	予習:WRコースの下調べをする。 復習:GWのまとめ。	60	計画力
8回 /	小集団での共同学修 2~WRのコース図作成 WRコース図作成方法を学びます。	数名でのGW	GWに積極的に係ることができる。	予習:WRコースの再確認をする。 復習:GWのまとめ	60	傾聴力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

回数	学習・教育内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9回 /	小集団での共同学修 3～WR の体験:他グループ作成のコース 図でWR体験をする。	数名でのGW	GWに積極的に係ることができる。	予習:WRコースの再 確認をする。 復習:GWのまとめ	60	傾聴力
10回 /	小集団での共同学修 3～WRの 評価 各チームで企画実践したWR企 画の評価を行う。	数名でのGW	GWに積極的に係ることができる。	予習:WRコースの再 確認をする。 復習:GWの振り返り まとめ記録	60	主体性
11回 /	福祉レク援助の実際(2):一日の 生活を表現したレク財と関連した ゲームの実践を通して、遊びと 生活がいかに密着しているか学 習する。	講義と実技	ポイントを踏まえた効果的 な支援が実践できる。	予習:プリントの該当 範囲を理解する。 復習:講義のまとめと 実技の振り返り記録	60	発信力
12回 /	福祉レクの支援実習	実技	ポイントを踏まえた効果的 な支援が実践できる。	予習:支援実習での ゲームの調査 復習:支援実習を振 返り記録。	60	発信力
13回 /	福祉レクプログラム開発(1):イベ ント企画に必要な A-PIE プロセ スについて事例を通して学び、 グループ作業のスタートとする。	講義とGW	イベント企画のプロセス理 解ができています。	予習:プリントの該当 範囲を理解する。 復習:講義とGWのま まとめ記録。	60	計画力
14回 /	福祉レクプログラム開発(2):グル ープで養護老人ホームの誕生 日会でのプログラムを企画しよ う。柔軟な発想と創造で楽しい 企画づくりを!	企画書作成 GW	企画書内容が 60%の完成 度である。	予習:プリントの該当 範囲を理解する。 復習:GWの振り返り 記録する。	60	創造力
15回 /	養護老人ホームの誕生日会を 楽しもう! グループごとに、養護老人ホー ムの誕生日会プログラムの発表 を行い、全員で議論する。	発表・議論	ポイントが整理され、わかり やすく発表ができる。	予習:プリントの該当 範囲を理解する。 復習:授業のまとめ。	60	発信力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力